IUK 産学官地域連携ニューズレター Vol.



2022(令和4)年6月24日発行

ジオパークで遺跡の発掘調査を実施

国際文化学部 中園ゼミ





▲検出した中世~現代の遺構

国際文化学部の中園聡教授(考 古学)が令和3年度に、「三島村・ 鬼界カルデラジオパーク」に認定 されている鹿児島郡三島村の黒 島・大里遺跡で、調査研究を行い **ました。**この研究は、ジオパーク の充実発展を目指すもので、令和 2年度から継続の委託事業です。

調査研究の一環で3月4日から 20 日まで、中園ゼミの学部生や

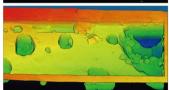
院生ら 10 名が参加するフィールドワークを黒島で行い、 発掘調査や住民からの聞き取り調査、ジオパーク関係説 明板の作成、地域住民への説明などを行いました。



今回の調査では、遺跡の構造の把握や黒島での定住の 起源と定住のあり方の解明などが課題で、調査後も慎重

に遺物の整理作業を行って います。中園教授は「持続 的な住環境がどう構築され てきたかを歴史的な深みの 中でとらえることは未来を 考えるうえでも重要。デジ タル技術による新しい発掘 方式の開発も兼ねており、 今後成果を公表していきた **い**」と話しています。





調査区の3D計測画像 (JSPS科研費JP20K01100による)

|ゼミ活動で複数の事業を実施

国際文化学部 マクマレイゼミ

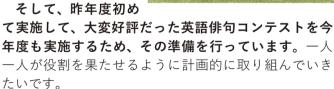
鹿児島国際大学

国際文化学科のマクマレイゼミでは、複数の事業を 実施するために担当を割り当て、グループごとに活動 しています。

フィールドワークチームは、県内の観光地等にある パンフレットを確認し、英語版パンフレットの制作の 必要性を感じた場合は、相手先に働きかけて、制作案 をプレゼンテーションすることに力を入れており、複 数の場所で実施できるよう、現在交渉を行っています。

また、カナダプロジェクトチームは今年度、カナダ

への研修旅行を企画し ており、実現に向けて 調整を行っています。



国際文化学科2年:柴遥花





〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

IUK 産学官地域連携ニューズレター^{Vol.}

2022(令和4)年6月24日発行

鹿児島で自分の農業 スタイルを確立したい!

札幌大学から初の派遣学生来学



▲一日のはじまりは牛の餌やり

本学と連携協定を締結している札幌大学から今年度、初めて派遣学生が来学しました。経済学科 3 年所属の金田尚輝さんで、1 年間本学で学ぶことになります。 実家は茨城県でさつまいも農家を営んでおり、経済の仕組みやマーケティングに関することを学ぼうと、北海道にある札幌大学に進学。コロナ禍で外出が難しい



▲芋の苗を植えた広大な敷地

期間でしたが、帯広にある農家へ手伝いに行くなど、農業や畜産に関する知識を現場から得ることも大切にして過ごしたようです。

さつまいもの栽培は東

北が北限ということもあり、国内留学の制度を利用し、さつまいも栽培が盛んな鹿児島にある本学で学ぶことを決意。3月初旬に鹿児島入りし、2日目の夕食時に偶然出会った方に紹介された鹿児島市にある畜産農家を訪ねると、ご主人が空き家になっていた家と近くの畑を準備してくれたため、「ゼロから芋を栽培し、ここを拠点に学業と農業を両立させたいと思った」と話します。

偶然が重なり始まった鹿児島での生活に本人も驚いているようですが、金田さんが理想とする有機農業を実践しながら模索する方々に出会え、「さらに人脈を広げ、知識と経験をここ鹿児島で蓄積し、自分の農業スタイルを確立したい」と意気込んでいます。

南九州市川辺町で 地域活性化策を模索

経営学科 アイリッシュゼミ

経営学科のジェフリー・アイリッシュ教授のゼミでは、南九州市川辺町で商店街の現状と課題を整理し、活性化の可能性を探るフィールドワークや、移住者に暮らしてもらうための空き家の再生を行っています。これまで、商店街の店主に、店の歴史や今後の運営に



ついて聞き取りを実施し、さらに、 すでに閉じている店の状況の確認 も行ってきました。

4月5日、その活動が縁で、廃校になった旧川辺中学校をリノベーションして完成した、レストランやオフィスが入る複合施設「TANOKAMI STATION」のオープ



▲「TANOKAMI STATION」のオープニングセレモニーに参加

ニングセレモニーに、本学の大久保幸夫学長も招待され、テープカットを行いました。セレモニー後の内覧会では、同ゼミ生 3 名と同ゼミ卒業生で施設を運営する一般社団法人リバーバンクの浜田琢夢氏も協力し、地元の食材を使った料理を振る舞うなど、出席者やマスコミ関係者をもてなしました。

アイリッシュゼミでは今年度、「TANOKAMI STATION」を拠点に、川辺町の魅力的な食材の発掘や観光マップ作成など、地域活性化に向けて調査や研究を行う予定です。



▲商店街で聞き取り調査を実施